



平成30年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年7月5日

上場会社名 川口化学工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4361 URL http://www.kawachem.co.jp  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田吉隆  
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役総務部長 (氏名) 荻野幹雄 (TEL) 048-222-5171  
 四半期報告書提出予定日 平成30年7月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年11月期第2四半期の連結業績(平成29年12月1日～平成30年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年11月期第2四半期	3,622	2.1	77	△56.8	78	△55.5	57	△54.3
29年11月期第2四半期	3,548	16.7	179	—	175	—	125	—

(注) 包括利益 30年11月期第2四半期 49百万円(△62.5%) 29年11月期第2四半期 132百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年11月期第2四半期	47.10	—
29年11月期第2四半期	102.99	—

※平成30年6月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年11月期第2四半期	6,265	1,744	27.9
29年11月期	6,299	1,731	27.5

(参考) 自己資本 30年11月期第2四半期 1,744百万円 29年11月期 1,731百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年11月期	—	0.00	—	3.00	3.00
30年11月期	—	0.00	—	—	—
30年11月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成30年6月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合いたしましたので、平成30年11月期(予想)の1株当たり期末配当金及び年間配当金合計につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。なお、株式併合を考慮しない場合の平成30年11月期(予想)の1株当たり期末配当金及び年間配当金合計は3円00銭となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年11月期の連結業績予想(平成29年12月1日～平成30年11月30日)

連結業績予想に関する序文

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	7,300	4.2	180	△32.2	180	△30.4	120	△33.3

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※平成30年11月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。なお、株式併合を考慮しない場合の平成30年11月期の通期連結業績予想における1株当たり当期純利益は9円85銭となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 — 社 除外 — 社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年11月期2Q	1,220,000株	29年11月期	1,220,000株
② 期末自己株式数	30年11月期2Q	2,137株	29年11月期	2,137株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年11月期2Q	1,217,863株	29年11月期2Q	1,217,906株

※平成30年6月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び業績予想について)

当社は、平成30年2月27日開催の第116回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成30年6月1日付で、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。併せて同日付で単元株式数の変更(1,000株から100株への変更)を実施しております。

なお、当該株式併合の影響を考慮しない場合の平成30年11月期の配当及び連結業績予想は以下のとおりであります。

- (1) 平成30年11月期の配当予想  
 1株当たり配当金 (期末) 3円00銭
- (2) 平成30年11月期の連結業績予想  
 1株当たり当期純利益 (期末) 9円85銭

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界の景気は、引き続き米国においては回復が継続し、中国をはじめ東南アジアでは景気持ち直しが継続したことにより、緩やかに回復しました。国内においても、個人消費は持ち直しの動きが継続し、設備投資も緩やかに増加し、企業収益や雇用情勢の改善もあり、緩やかな回復が継続しました。

当社の関連する自動車業界においては、国内の自動車生産台数は前年同期並みで推移し、ゴム工業用品やタイヤ並びに合成ゴムの生産においても総じてほぼ前年並みで推移しました。

このような環境の中、既存事業の拡販に注力し、内外の新規顧客の開拓を進めるとともに新製品の紹介を行い、内外の要請に応えるため研究・品質保証設備の拡充を行いました。

ゴム薬品は日本国内向け、海外向けともに販売数量を伸ばしましたが、為替が円高になったことにより、海外向けの売上は前年同期を下回りました。樹脂薬品は国内向けが競争激化により売上が減少したものの、海外向けは新規受注もあり売上が伸びました。中間体は品目により増減があり、全体で売上は前年同期を下回りました。その他薬品は積極的な販売活動を行った結果、新製品の受注拡大と併せて、既存品についても販売増加したことから、売上が前年同期を上回りました。

原材料は、当期に入り為替が円高になりましたが、原油・ナフサ価格が昨年比で上昇したことや、中国からの輸入原料価格が上昇したことにより、原材料価格が引き続き上昇しました。この影響を最小限とするため、製品価格の価格改定を進めるとともに、内外の新規調達先の探索や評価を積極的に行いました。

生産においては、市場環境変化による需要の増減や、内外の顧客要望に応えるため、既存製品・新規製品ともに生産数量や時期並びに人員配置の効率化に対し全社を挙げて取り組みました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は36億22百万円（前年同期比2.1%増）、営業利益は77百万円（前年同期比56.8%減）、経常利益は78百万円（前年同期比55.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は57百万円（前年同期比54.3%減）となりました。

セグメント業績の概況は次のとおりであります。

#### ① 化学工業薬品事業

売上高は36億22百万円（前年同期比2.1%増）、セグメント利益（営業利益）は62百万円（前年同期比62.4%減）となりました。

#### ② 不動産賃貸事業

売上高は19百万円（前年同期比7.5%増）、セグメント利益（営業利益）は15百万円（前年同期比12.4%増）となりました。

（化学工業薬品事業の部門別の概況）

#### <ゴム薬品>

ゴム薬品の分野は、国内向けは、当期に入り国内自動車販売や生産がほぼ前年同期並みで推移しました。このような環境の中、工業用品向け薬品は、主要製品の拡販に注力し、一部商品において顧客の在庫調整による減少はありましたが、加硫促進剤や老化防止剤について売上が伸びた結果、前年同期の売上を上回りました。タイヤ向け薬品は、海外品との競合がありましたが、顧客の需要増に合わせ拡販に注力した結果、前年同期並みの売上となりました。合成ゴム向け薬品は、品目により増減がありましたが、全体では売上が前年同期を下回りました。海外向けは、東南アジアの持ち直し傾向が継続し、顧客需要の拡大に対し拡販努力を行った結果、数量は前年を上回りましたが、当期に入り為替が昨年と比較し円高で推移したことから売上が前年同期を下回りました。

この結果、国内・輸出合わせてのゴム薬品の売上は22億22百万円（前年同期比1.7%増）となりました。

#### <樹脂薬品>

樹脂薬品の分野は、国内向けは、アクリル酸・アクリル酸エステルが生産が引き続き堅調で推移しましたが、当社の主要製品において輸入品との競合が一層激しくなったため、売上は前年同期を下回りました。海外向けは、為替が円高で推移したものの、中国をはじめとする各国の既存顧客が回復傾向で継続したことから、商品ごとに市場需要に合わせた拡販活動を積極的に行った結果、新規受注もあり、売上が前年同期を上回りました。

この結果、樹脂薬品部門合計の売上は4億5百万円（前年同期比0.1%増）となりました。

#### <中間体>

中間体分野は、界面活性剤中間体は品目により増減がありましたが、売上が前年並みとなりました。染顔料中間体及び農薬中間体は主要品目においては、商品により増減がありましたが、一部品目の需要減もあり、全体として売上が前年同期を下回りました。医薬中間体・機能性化学品は、品目別に増減がありましたが、全体では売上が前年同期を下回りました。

この結果、中間体部門合計の売上は3億57百万円（前年同期比18.1%減）となりました。

#### <その他>

その他分野は、環境用薬剤は、年末年始の需要増やその後の堅調な需要により売上が前年同期を上回りました。潤滑油向けは品目により増減がありましたが、全体では売上が前年同期を下回りました。新規用途向けは、新規商品の売上が増加したことと、既存製品においても、主要品目で売上を伸ばした結果、全体では売上が前年同期を大幅に上回りました。

この結果、この部門合計の売上高は6億16百万円（前年同期比22.6%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産につきましては62億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ34百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が4億32百万円減少したことに対し、受取手形及び売掛金が8百万円、たな卸資産が1億67百万円、有形固定資産が2億17百万円増加したことによります。

負債につきましては45億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ47百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等が32百万円、未払消費税等が6百万円、固定負債その他のリース債務が7百万円減少したことによります。

純資産につきましては17億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ13百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が20百万円増加したことによります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ4億32百万円減少（前年同期は2億15百万円の増加）し、4億11百万円となりました。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、税金等調整前四半期純利益による資金の増加に対し、たな卸資産の増加による資金の減少等により1億3百万円の支出（前年同期は4億75百万円の収入）となりました。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、有形固定資産の取得による支出等により2億35百万円の支出（前年同期は1億87百万円の支出）となりました。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、短期借入金の増加に対し、長期借入金の返済による支出、配当金の支払等により93百万円の支出（前年同期は71百万円の支出）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年11月期の連結業績予想につきましては、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は変更ありませんが、主力ゴム薬品の安定した需要増及び新規商品の売上増により売上高が7,300百万円（前年同期比4.2%増）に変更しております。なお、その詳細は、「サマリー 3. 平成30年11月期の連結業績予想（平成29年12月1日～平成30年11月30日）」に記載のとおりであります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	844,627	411,816
受取手形及び売掛金	2,171,728	2,180,718
商品及び製品	696,542	795,565
仕掛品	275,570	322,270
原材料及び貯蔵品	312,835	335,033
その他	49,473	67,529
貸倒引当金	△3,704	△3,707
流動資産合計	4,347,073	4,109,226
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	759,751	746,102
その他(純額)	931,126	1,162,096
有形固定資産合計	1,690,878	1,908,199
無形固定資産		
その他	15,129	18,480
無形固定資産合計	15,129	18,480
投資その他の資産		
その他	259,538	243,204
貸倒引当金	△13,417	△14,076
投資その他の資産合計	246,121	229,127
固定資産合計	1,952,129	2,155,807
資産合計	6,299,202	6,265,034
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,132,533	1,130,250
短期借入金	860,000	1,010,000
1年内返済予定の長期借入金	690,223	488,489
未払金	258,978	257,658
未払法人税等	51,020	19,011
未払消費税等	6,786	—
役員賞与引当金	12,000	6,000
その他	378,728	433,456
流動負債合計	3,390,269	3,344,865
固定負債		
長期借入金	609,880	611,490
役員退職慰労引当金	78,373	82,442
退職給付に係る負債	321,921	322,603
その他	166,901	158,734
固定負債合計	1,177,076	1,175,269
負債合計	4,567,345	4,520,134

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	610,000	610,000
資本剰余金	58,437	58,437
利益剰余金	1,019,311	1,040,140
自己株式	△7,652	△7,652
株主資本合計	1,680,096	1,700,925
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,115	33,328
為替換算調整勘定	10,645	10,645
その他の包括利益累計額合計	51,760	43,973
純資産合計	1,731,857	1,744,899
負債純資産合計	6,299,202	6,265,034

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年5月31日)
売上高	3,548,292	3,622,056
売上原価	2,879,560	3,012,507
売上総利益	668,732	609,548
販売費及び一般管理費	488,898	531,803
営業利益	179,833	77,744
営業外収益		
受取利息	281	321
受取配当金	496	876
貸倒引当金戻入額	197	—
受取手数料	—	2,419
その他	2,577	4,707
営業外収益合計	3,552	8,325
営業外費用		
支払利息	6,342	6,355
貸倒引当金繰入額	—	639
為替差損	156	436
その他	1,095	338
営業外費用合計	7,593	7,770
経常利益	175,791	78,299
特別損失		
固定資産除却損	216	2,363
特別損失合計	216	2,363
税金等調整前四半期純利益	175,575	75,936
法人税、住民税及び事業税	22,901	11,315
法人税等調整額	27,245	7,255
法人税等合計	50,146	18,570
四半期純利益	125,428	57,365
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	125,428	57,365

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年5月31日)
四半期純利益	125,428	57,365
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,695	△7,787
為替換算調整勘定	△46	0
その他の包括利益合計	6,648	△7,787
四半期包括利益	132,077	49,578
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	132,077	49,578
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	175,575	75,936
減価償却費	129,173	146,518
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△197	661
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4,045	681
賞与引当金の増減額(△は減少)	20,416	—
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	6,000	△6,000
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,787	4,068
受取利息及び受取配当金	△777	△1,198
為替差損益(△は益)	301	438
支払利息及び社債利息	6,337	6,355
固定資産除却損	216	2,363
売上債権の増減額(△は増加)	95,657	△8,990
たな卸資産の増減額(△は増加)	△155,541	△167,921
仕入債務の増減額(△は減少)	187,160	△5,096
未払消費税等の増減額(△は減少)	△12,395	△6,703
その他	24,474	△100,288
小計	484,234	△59,173
利息及び配当金の受取額	777	1,198
利息の支払額	△6,220	△6,367
法人税等の支払額	△3,282	△39,080
営業活動によるキャッシュ・フロー	475,508	△103,423
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△190,889	△233,017
無形固定資産の取得による支出	—	△5,483
貸付金の回収による収入	684	685
その他	2,829	2,720
投資活動によるキャッシュ・フロー	△187,375	△235,095
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△150,000	150,000
長期借入れによる収入	100,000	50,000
長期借入金の返済による支出	△14,022	△250,124
リース債務の返済による支出	△7,780	△7,665
自己株式の取得による支出	△24	△0
配当金の支払額	△47	△36,064
財務活動によるキャッシュ・フロー	△71,875	△93,854
現金及び現金同等物に係る換算差額	△347	△438
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	215,910	△432,811
現金及び現金同等物の期首残高	710,436	844,627
現金及び現金同等物の四半期末残高	926,346	411,816

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年12月1日 至 平成29年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,530,555	17,737	3,548,292	—	3,548,292
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,530,555	17,737	3,548,292	—	3,548,292
セグメント利益	166,257	13,576	179,833	—	179,833

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来、「有機化学工業薬品事業」の単一セグメントでありましたが、重要性が増加した「不動産賃貸事業」を前連結会計年度より報告セグメントに追加し、「化学工業薬品事業」及び「不動産賃貸事業」の2区分に変更しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年12月1日 至 平成30年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,602,984	19,071	3,622,056	—	3,622,056
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,602,984	19,071	3,622,056	—	3,622,056
セグメント利益	62,478	15,265	77,744	—	77,744

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。